

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名： 中島 威夫

事業名 一般国道405号 切光バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 新潟県	
起終点 自：新潟県東頸城郡牧村高谷 至：新潟県東頸城郡牧村小川		延長 3.6km	
事業概要 一般国道405号は、群馬県吾妻郡六合村を起点とし新潟県上越市に至る幹線道路である。切光バイパスは、幅員狭小及び平面・縦断線形不良区間を解消し、特に冬期間における安全で円滑な交通を確保することにより、雪や災害に強い道路ネットワークの形成、日常生活圏の連携強化を図る。			
昭和63年度事業化	都市計画決定なし	昭和63年度用地着手	
平成元年度工事着手			
全体事業費	約35億円	事業進捗率	
		85%	
計画交通量	600台/日	供用済延長	
		1.1km	
費用便益比 B / C	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
(事業全体)	6/6 億円	8/8 億円	平成15年
1.2	(事業費：5/5 億円)	(走行時間短縮便益：8/8 億円)	
(残事業)	維持管理費：2/2 億円	走行費用減少便益：0/0 億円	
1.2		交通事故減少便益：0/0 億円	
事業の効果等			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国土・地域のネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・ 災害への備え（対象区間が緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけあり） <p style="text-align: right;">他9項目に該当</p>			
関係する地方公共団体等の意見			
牧村は、浦川原村らと共に「一般国道405号（牧～津南間）改良整備促進協議会」を組織し、国・県に対し積極的に要望活動を行っている。また発生残土処理場所について牧村を仲介とし地元交渉に当たっており牧村も施工条件の整理に協力している。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 特になし			
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在まで用地買収・工事を推進し1.1km部分供用しており、今年度工事により部分供用の延長は2.2kmとなる予定。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地買収の完了により、今後の早期全線供用に向けて事業促進を図る。			
施設の構造や工法の変更等 プレキャスト製品や再生材の活用、建設発生土の有効利用等コスト縮減に努めている。			
対応方針 事業継続			
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

再評価の時点までに事業区間の一部に部分供用があり、事業全体の費用便益分析に変えて、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を実施。